

採択理由

プログラム名：健康研究成果の実用化加速のための研究・開発
システム関連の隘路解消を支援するプログラム
課題名：iPS由来再生心筋細胞移植の安全性評価
提案機関名：慶應義塾大学
研究代表者名：福田 恵一

コメント

本提案は、ヒト iPS 細胞から分化誘導した再生心筋細胞を心不全患者に移植する新規治療法の開発に向けて、最終プロダクトとしての移植細胞の生産検討を行うとともに、実験動物を用いて安全性及び有効性の検討を行い、臨床応用を目指す重要な取組である。またこれまでの研究成果から、iPS 細胞の樹立とその大量培養技術、選択的に心筋細胞に分化誘導する技術、及び心筋細胞と未分化幹細胞を分離する技術等の重要な基盤技術を既にほぼ確立しており、これらを踏まえた臨床研究への展開が期待される。なお、心不全に対する再生医療については、iPS 細胞以外の細胞に基づく技術開発も行われ、すでに臨床研究も行われ実用化に向けて推進されつつある状況であること及び本プログラムの趣旨に鑑み、課題の実施に際しては、当初計画に示されている3年後の臨床研究実施のタイミングに間に合うように、実施体制を強化し、安全性の検討計画を前倒しにすることが求められる。また、他の資金との切り分けを明確にして課題を推進することが必要である。